

**【事務事業調査】**

事務事業名	食に関する知識の普及事業費			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-040102-003-03-01-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当	健康づくり担当	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	田中 圭子		

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	「健康たかねざわ元気計画」や「食育地産地消推進行動計画」に基づき次のような事業を実施する。①各年代に合わせた食教育を実施する。特に中高年ではメタボリックシンドローム対策の教室を充実する。②園・学校と協力し、幼児・児童生徒や保護者を対象とした教室や講話を実施し、毎月19日の日にのぼり旗を掲げ啓発する。③園・学校のおたより、広報等を活用し「簡単朝ごはんレシピ」や「3食バランスよく食べる大切さ」を周知する。④20年度に作成した「簡単朝ごはんレシピ」を配布し、朝ごはんを食べることや家族そろって食事することの大切さを紹介する。親子での体験活動を通じて普及していく。継続して簡単朝ごはんのアイデアを募集していく。⑤安心、安全な食材の知識を普及するため、地元産の食材への理解を深めてもらうよう、教室で紹介していく⑥たかねビア等のイベントを利用し、正しい食生活や地元産野菜の普及を行う。	①正しい食生活を通して、生涯にわたっていきいき暮らすことができるための知識を習得し、生活習慣病の予防と改善につながる。②身近な指導の場を活用することにより、正しい食生活への習慣づけができ、健康な生活を送る力を身につけさせることができる③「簡単朝ごはんレシピ」を用いた簡単な料理や手軽な工夫から、正しい生活習慣の知識の習慣につなげられる。④低学年のうちからの体験学習は、自分や家族の食事をつくるという経験となり、生きる力を身につけることとなる。⑤地元産の食材(特に農産物)への理解が深まり、消費の拡大へとつながる。⑥沢山の人が集まる場での啓発は、広い層へ知識を普及させることができ、食生活改善のきっかけとなる。
実績	①乳幼児健診、遊びの教室等で栄養指導、講話を実施。結果説明会では健診の結果に合わせて栄養指導を実施。小学生を対象に親子料理教室を実施②保育園、幼稚園で栄養士と食改委員で幼児栄養教室を開催。食育月間には、朝ごはんについての啓発のパンフレットを配布した。③「わんぱく通信」を年3回発行し、簡単レシピや朝ごはんの大切さについて啓発。④朝ごはんレシピを募集し、小中学校へ配布⑤教室では旬の食材をメインに指導。直売所たんたんてで季節ごとに旬の食材を使ったレシピを紹介。⑥たかねビア秋祭りで食改、食育推進委員と合同で食に関する啓発を行った。	各事業において、「3食バランスよく食べること」を基本として啓発を行った。手法や対象は違いますが基本は同じであるので、以前にも聞いたことがあると思出し、食に対する意識を新たにする様子が伺われた。すぐに習慣化することは難しいが、繰り返し啓発することで生活習慣の改善につながっていくと思われる。生活習慣アンケートでも3食きちんと食べるや食に対する知識があると回答する人は増えている。

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
食事を1日3食食べる人の割合	87%	89.9%	

**■事業費(計画)**

細 節	金 額
1 賃金	2,472,000
2 消耗品	160,000
3 印刷製本費	225,000
4	
5	
6	
7	
8	
	2,857,000

**■事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 賃金	2,060,000
2 消耗品	116,000
3 印刷製本費	125,000
4	
5	
6	
7	
8	
	2,301,000

**■事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 賃金	1,919,915	
2 消耗品	110,349	
3 印刷製本費	105,350	
4		
5		
6		
7		
8		
	2,135,614	

**■事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		2,301,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		2,301,000	
決 算	決算額		2,135,614	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	2,857,000	2,135,614	